

草の根技術協力（地域活性化特別枠）事業概要表

Ⅰ．事業概要	
1. 対象国名	フィリピン共和国
2. 事業名	ダバオ市における一般廃棄物処理システム構築プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	本事業は草の根技術協力事業「ダバオ市における廃棄物管理向上支援プロジェクト」（2017 年 4 月～2020 年 3 月）の後継事業である。前回事業においては、ごみの排出源での発生抑制、減量、分別等、いわば上流側の対策を行ったが、事業実施中に排出されたごみの収集・運搬、回収が適切に実施されていないことが一因で居住地域や海洋へのごみ流出等の問題が生じていることが明らかになった。廃棄物処理プロセス全体を適切に実施するためには、前回事業で取組んだ上流側の対策に続き、収集・運搬、回収システムの強化が必要である。
4. プロジェクト目標	モデルバランガイ内の対象ゾーンにおける一般ごみ及び資源化物のごみ処理システムが確立される。
5. 対象地域	フィリピン共和国ダバオ市
6. 対象地域を管轄する在外公館	在ダバオ日本国総領事館
7. 受益者層（ターゲットグループ）	ダバオ市環境天然資源局等関係部署職員、ダバオ市内対象地域関係者、収集車両ドライバー/作業員、対象ゾーン住民
8. 生み出すべきアウトプット及び活動	<アウトプット> 1. ステークホルダー間の役割分担が明確になり、各自が役割を果たす。 2. 各家庭内での統一したごみの分別・排出方法が行われる。 3. 一般ごみの収集・運搬システムが確立される。 4. 資源化物の回収システムが確立される。 <活動> 1. ステークホルダーと事業目的・実施方法・実施体制について協議の上、廃棄物収集・運搬、回収にかかる実施計画書を作成する。 2. ワークショップ・説明会等を通して、事業実施対象地域の住民にごみ処理プロセスを周知し、統一したごみの分別・排出が実施されるようにする。 3. 一般ごみ/資源化物の収集・運搬・回収ルートや頻度を検討、トライアルを通じて検証する。 4. 他地域で同様の活動展開ができるよう、計画・マニュアル整備及び人材育成を行う。
9. 実施期間	2022 年 4 月～2025 年 4 月（3 年 0 カ月）
10. 精算金額	51,009 千円
11. 日本側実施機関	公益財団法人北九州市環境整備協会、北九州市、公益財団法人地球環境戦略研究機関、公益財団法人北九州国際技術協力協会
12. 相手国側実施機関	ダバオ市環境天然資源局
Ⅱ．応募団体の概要	
1. 団体名	提案自治体：北九州市、実施団体：公益財団法人北九州市環境整備協会
2. 活動内容	市の廃棄物に関する計画、管理及び指導・啓発、一般廃棄物の収集運搬業務、ごみ質等の調査分析